

独立行政法人 労働者健康安全機構

福島労災病院



診療ご案内

(2024 年度版)



心通い合う良質で信頼される医療・看護を実践し、
勤労者や地域の皆様の健康を支えます。

目 次

病院長あいさつ	1
福島労災病院理念・基本方針	3
福島労災病院概要	3
認定施設一覧	4
診療科紹介	
(1) 血液内科・腫瘍内科	5
(2) 腎臓内科	6
(3) 呼吸器科（呼吸器疾患センター）	7
(4) 消化器科（消化器病センター）	8
(5) リウマチ・膠原病内科	11
(6) 循環器科	12
(7) 外科（消化器病センター）	14
(8) 呼吸器外科（呼吸器疾患センター）	17
(9) 整形外科（上肢機能再建外科センター）	18
(10) 脳神経外科	20
(11) 眼科	23
(12) 耳鼻咽喉科	24
(13) 放射線治療科	25
(14) 病理診断科	26
(15) 麻酔科	27
(16) 皮膚科	27
(17) 泌尿器科	27
(18) 婦人科	28
医療専門資格・認定資格紹介	
(1) 看護部	29
(2) 薬剤部	30
(3) 中央検査部	31
(4) 中央放射線部	32
(5) 中央リハビリテーション部	33
(6) 内視鏡診療部	34
(7) 入退院支援センター	35
(8) 相談支援センター	35
地域医療連携室のご案内	36
フロアマップ	38

病院長あいさつ

2024年度版の診療ご案内をお届けします。福島労災病院の取り組みをわかりやすくお伝えできるように、今年度から各診療科の紹介内容を充実しました。引き続き、皆様から多くの患者様をご紹介いただければ幸いです。

〈新病院建築〉

今年度、新病院建築の第一歩を踏み出しました。当院の長年の悲願でしたが、労働者健康安全機構本部の承認も得て、ようやくスタートです。いわき市にご協力いただき移転候補地を検討したのですが、病院建築に適した土地はなかなか見つかりません。当院の老朽化が進んでいることから、移転をあきらめて現地に建て替えることにしました。基本計画、基本設計、実施設計を経て建築が始まり、完成は何年か先になります。当院が最も大切にしているのは、地域の皆様との連携ですので、「地域の人々が集える場所として地域を支える病院」を目指し進めてまいります。



〈人事の紹介〉

副院長の武藤淳先生、外科部長の又吉一仁先生、麻酔科主任部長の矢内裕宗先生は定年退職ですが、そのまま常勤嘱託として残っていただくことになりました。医師の少ないいわき市ですので、定年後も残っていただき感謝しています。定年後も勤務していただいた病理の箱崎半道先生は退職となりました。中堅では、外科部長として金田晃尚先生、整形外科（寄附講座）主任部長として森島 満先生が着任されました。新しい力で診療を牽引していただけると期待しています。初期研修医であった赤池和喜先生と留野広太郎先生は、それぞれの道に進まれました。代わりに初期研修医1年目の菊地亮介先生と藤村剛志先生が入られ、2年目の新井良尚先生、西山敬先生と共に頑張っています。また、放射線治療科には昨年度竹原由佳先生が着任され、玉木義雄部長と2人体制になりました。若手医師では消化器科、循環器科、外科、呼吸器外科、脳神経外科で交代がありました。

今年度も各診療科の若手、中堅、ベテランが協力して診療してまいります。



令和6年度4名の研修医です



令和5年度
研修医による
研修風景です。



〈今年度の診療〉

消化器科、外科、呼吸器外科、血液内科、呼吸器科、放射線治療科などによる「がん診療」は、引き続き当院診療の柱です。特に、外科と消化器科が協力する消化器病センターでの総合的ながん診療機能の更なる充実を図るために、今年度から「内視鏡診療部」を創設しました。部長は消化器科部長の市井 統先生が兼務します。当院では長年に渡りがんの診断から手術、放射線治療、化学療法などの治療、就労との両立支援、緩和ケアや在宅医療への橋渡しに取り組んできました。さらに、今年後からは内視鏡診療が充実しますので、より多くの患者様をご紹介します。

地域の皆様との連携を大切にしている当院ですが、昨年度も新型コロナウイルス感染の院内クラスターのために診療制限をすることがありました。5類になっても感染力が強いので、感染拡大には注意して診療しています。また、ご紹介にはすばやくお返事できるよう、院内体制も整備してまいります。緩和ケア病棟への入院、地域包括ケア病棟でのレスパイト入院についてもぜひご紹介ください。

救急医療について、いわき市では3次救急病院であるいわき市医療センターを中心に、2次救急病院などが救急を受け入れています。体制は十分ではありません。当院も2次救急病院として、いわき市医療センターに次ぐ救急患者様を受け入れています。医師も看護師やその他の医療職も人手不足ですので、全ての問合せを受け入れることは難しいのですが、より多く受け入れできるように救急輪番日には医師および看護師を2名体制にして、断らない救急を目指しています。

今年度も、医師会や病院協議会、開業医の皆様と連携していわき市の医療に貢献し、新病院建築を進めたいと決意しております。引き続き、福島労災病院へのご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

令和6年7月吉日

病院長 齋藤 清



診療看護師によるサポートがあります



緩和ケア病棟病室



化学療法室

福島労災病院理念

心通い合う良質で信頼される医療・看護を実践し、勤労者や地域の皆様の健康を支えます。

福島労災病院基本方針

- 医療を受ける方の権利を尊重し、受ける方が主役の医療を実践します。
- 医療人として常に研鑽し、チーム医療を軸とした高質な医療を安全・安心かつ確実に提供します。
- 地域の医療機関等との連携を図り、地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます。
- 永年にわたる勤労者医療の実績を活かし、働く方の健康維持と早期社会復帰に取り組みます。

福島労災病院概要（令和6年4月1日現在）



- 所在地 〒973-8403
福島県いわき市内郷綴町沼尻3番地
- 設立年月日 昭和30年3月22日
- 稼働病床数 336床（一般病床）
- 診療科目 （正式標榜科目 21診療科）

内科、心療内科、神経科（休診中）、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、歯科（休診中）

●病院の特徴

福島県がん診療連携推進病院・地域医療支援病院・病院機能評価認定病院
緩和ケア病棟・地域包括ケア病棟・レスパイト入院受入

●専門センター

消化器病センター・呼吸器疾患センター・運動器疾患センター・栄養サポートセンター
上肢機能再建外科センター・タバコ関連疾患治療センター・相談支援センター
治療就労両立支援相談窓口

●主な医療機器

血管撮影装置：INFX-8000V/JE、CT撮影装置：Aqilion Prime SP
MRI撮影装置：MAGNETOM Avanto SQ（1.5T）、核医学装置：BRIGHT VIEW
放射線治療装置：Clinac-iX、X線TVシステム：CUREVISTA
X線TVシステム：Ultimax 80、乳房撮影装置：AMULET Innovarity
骨密度測定装置：Discovery

認定施設一覧

1. 指定医療機関

- ① 病院開設承認
- ② 健康保険法に基づく医療機関の指定
- ③ 国民健康保険法に基づく医療機関の指定
- ④ 生活保護法に基づく医療機関の指定
- ⑤ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく医療機関の指定
- ⑥ 身体障害者福祉法に基づく更生・育成（整形外科）医療機関の指定
- ⑦ 労災保険におけるリハビリテーション医療実施施設の指定
- ⑧ 原子力爆弾被爆者の医療等に関する法律に基づく一般疾病医療機関の指定
- ⑨ 救急医療機関の告示
- ⑩ エイズ拠点病院
- ⑪ 臨床研修指定病院
- ⑫ 福島県がん診療連携推進病院
- ⑬ 地域医療支援病院
- ⑭ 指定小児慢性特定疾病医療機関
- ⑮ 原子力災害医療協力機関
- ⑯ 医療被ばく低減施設認定
- ⑰ 福島県初期被ばく医療機関
- ⑱ 福島県肝疾患専門医療機関
- ⑲ 岩手県肝炎治療指定医療機関
- ⑳ 東京都肝臓専門医療機関
- ㉑ 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項に基づく指定医療機関
- ㉒ 日本医療機能評価機構認定病院
(3rdG:Ver.1.1)
- ㉓ 福島県診療・検査医療機関
- ㉔ 福島県重点医療機関（確保病床数：13床）
- ㉕ 紹介受診重点医療機関



2. 学会認定施設

- ① 呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設
- ② 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ④ 日本リウマチ学会教育施設
- ⑤ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ⑥ 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- ⑦ 日本肝臓学会認定施設
- ⑧ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ⑨ 日本禁煙学会教育施設
- ⑩ 日本血液学会認定専門研修教育施設
- ⑪ 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設
- ⑫ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ⑬ 日本消化器外科学会専門医制度指定専門医修練施設
- ⑭ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ⑮ 日本消化器病学会認定医制度認定施設
- ⑯ 日本心身医学会認定医制度研修診療施設
- ⑰ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ⑱ 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修基幹施設
- ⑲ 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ⑳ 日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医制度関連施設
- ㉑ 日本乳癌学会専門医制度関連施設
- ㉒ 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- ㉓ 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設
- ㉔ 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ㉕ 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ㉖ 日本輸血・細胞治療学会(I&A 制度)認証施設
- ㉗ 日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働認定施設
- ㉘ 日本臨床栄養代謝学会 NST 専門療法士認定教育施設
- ㉙ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
- ㉚ 日本耳鼻咽喉科学会 専門研修連携施設

診療科紹介

血液内科・腫瘍内科

〈特色〉

2014年1月に「腫瘍内科」として医師1名で開設しました、そして2020年4月から「血液内科・腫瘍内科」に拡がり福島県立医科大学血液内科の支援により月2回（第1・3木曜）の福島医大病院医師による外来診療が始まりました。その後さらに血液内科を充実させ、福島医大病院といわき市医療センターの血液内科との連携を深め、地域の血液内科診療を支えるよう努めております。一方の腫瘍内科領域も部分的ではございますが診療しております。

診療実績（患者数は2022年度）

外来 延患者数 2,514人

他にCOVID-19関連や救急患者を多数

入院 延患者数 3,664人 実患者数 69人

（主な疾患 悪性リンパ腫：33人、肺がん：18人）

扱える疾患

悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、急性白血病、慢性白血病、骨髄異形成症候群、真性多血症、本態性血小板増多症、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血、鉄欠乏性貧血、ビタミンB12欠乏性貧血、栄養障害性貧血、サラセミア、キャスルマン病、肺がん、乳がん、原発不明がん、COVID-19診療、気胸、肺炎、脳梗塞、一般救急、介護困難、老衰などの患者様を診させていただきます。

〈力を入れている取り組み〉

大学病院やがん専門病院や地域がん診療連携拠点病院と連携して外来化学療法中の支持療法、化学療法の引継ぎや治療後の経過観察に対応してきましたが、最近では患者様受け入れを大きく制限しなければならない状況になっています。その他に、地域の療養病院や診療所と連携して、身近にあるご希望の環境で療養できるよう紹介させていただいております。

〈地域医療機関の先生方へ〉

大変有難い事に、血液内科も腫瘍内科も多くの紹介を頂いているのですが、2023年秋に近隣病院の血液内科が閉鎖になり、当科は常勤医師一人で診療している上に、2024年4月に始まった医師の働き方改革が加わり、患者様受け入れを大きく制限しなければならない状況になっています。当院は厚労省と深い関わりがあるため医師の働き方改革への対応を疎かにすることは出来ないので、昔の様に時間外労働を増やす対処方法は不可能になってしまい、能率を上げるしかありません。しかし、いわき市は全体的に医師が不足している地域で救急と介護を支える役目も分担しており、簡単では無いと言うのが正直なところです。院内だけでなく、地域の先生方や医療職や介護職や消防署や警察署や福祉職の方々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

いしづか ひかり
石塚 光

腫瘍内科主任部長

■専門：血液内科、腫瘍内科

■資格：日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医
日本血液学会 認定血液専門医
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
緩和ケア研修会修了



腎臓内科

〈特色〉

CKDは尿蛋白が1+以上で持続している状態、もしくはeGFR 60ml/min/1.73m²未満に低下している状態であり、その原因としては、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病から慢性腎炎など原発性の疾患が挙げられます。現在日本人の1,330万人、8人に1人がCKDであると推定されており、CKDは放置すると腎臓の働きが低下して人工透析や腎移植が必要となるほか、CKD患者様は脳卒中や心筋梗塞、心不全などの合併症や死亡のリスクが高いことも知られています。低下した腎機能を回復する治療は確立されておらず、腎炎などの原因疾患の治療、糖尿病や高血圧症の管理を中心とした腎不全管理が重要となります。

CKD診療ガイドラインではeGFR 45ml/min/1.73m²未満（40歳未満ではeGFR 60ml/min/1.73m²未満）、持続する顕性蛋白尿が腎臓内科紹介推奨の目安となりますが、臨床的には男女共、とくに高齢者ではCr 0.9~1.0mg/dl以上より腎機能の低下が疑われますので腎機能や尿所見に異常がみられる場合には早めに腎臓専門医へご相談ください。

扱える疾患

慢性腎臓病(CKD)、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群の治療・管理を中心に診療を行っております。また、少数ではありますが入院患者様の透析治療を担当しております。

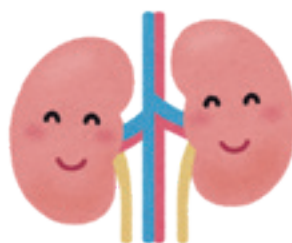
〈力を入れている取り組み〉

当院では現在腎生検によるCKDの精査や透析導入、維持透析には対応できませんが、検尿異常を認める患者様の初期対応や透析期までの保存期腎不全患者様の管理について、状況に応じて入院や併診での腎不全管理をご相談させていただきます。また、維持透析患者様の手術などの入院治療や入院精査の際には、入院透析について当科で対応させていただいております。

〈地域医療機関の先生方へ〉

（とくに若年の）腎生検の必要性が高い患者様や急性腎障害（AKI）など緊急性、重症度の高い患者様、透析導入が早急に必要の場合につきましては、透析施設など他院へのご相談をお願いさせていただいております。ご不便をおかけして誠に申し訳ございませんが、単身での体制でもありご理解のほどよろしくお願いいたします。

くさの ゆうき
草野 裕樹
腎臓内科主任部長
糖尿病・内分泌科部長



■専門：腎臓内科一般

■資格：医学博士

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本腎臓学会 認定専門医

〈各センターについてご紹介〉

★「消化器病センター」とは

当院で最も診療件数の多い消化器疾患について、診断から治療まで一貫して行える体制を構築し、迅速かつ効率的に、より優しい医療の提供を目指しています。以前から、術前・術後の管理において連携の良かった消化器内科医と外科医（消化器領域）の連携は更に密接なものとなり、円滑で柔軟性のある医療チームの実践により、診療件数は増加し、診療の質の向上が図られています。

★「呼吸器疾患センター」とは

呼吸器疾患全般にわたって総合的な治療を目的としています。肺癌の診断に欠かせないCT検査や気管支鏡の他に、肺癌の診断がつけば手術できる患者様は呼吸器外科で手術し、化学療法（いわゆる抗がん剤）や放射線療法の患者様は主に呼吸器内科で診ることになります。

★「上肢機能再建外科センター」とは

肩関節・肘関節・手関節や末梢神経に代表される上肢機能の再建を目的としたセンターです。多くの患者様を専門的かつ集中的に治療を行うことが可能です。

★「タバコ関連疾患治療センター」とは

当院では、令和元年10月より「禁煙治療センター」として禁煙治療を行っておりますが、令和2年4月より「タバコ関連疾患治療センター」と名称を変更いたします。従来の禁煙治療に加え受動喫煙等も対象とすることとし、タバコに関するすべての疾患に対応していきます。

呼吸器科

（呼吸器疾患センター）

〈特色〉

炭鉱があった頃はじん肺患者様が主でしたが、閉山後はじん肺患者様が減り肺癌と、高齢化により嚥下性肺炎の患者様が増えています。また中高年の女性に非結核性抗酸菌症という病気も増えてきています。

いわき地方は呼吸器内科の専門医が極端に少ない地域で、特に病院に勤務する常勤医の拡充が緊急の課題になっています。

扱える疾患

じん肺、嚥下性肺炎、
非結核性抗酸菌症



いしはら としはる
石原 俊晴

呼吸器科医師
呼吸器疾患センター長

■専門：気管支喘息、呼吸器一般

■資格：医学博士

日本内科学会 認定医制度研修医
労働衛生コンサルタント



〈特色〉

消化器科は、常勤医師9名および外部からの診療応援医師4名で診療にあたっています。各種専門医が在職しており、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会の指導施設であり、日本がん治療認定医機構の認定研修施設になっています。

診療対象疾患は消化管疾患、肝疾患、胆膵疾患の消化器疾患全般に対応し、特に悪性腫瘍に関しては各種精密検査や内視鏡治療、エコー下治療、IVR治療、抗癌剤治療などを行っています。



〈力を入れている取り組み〉

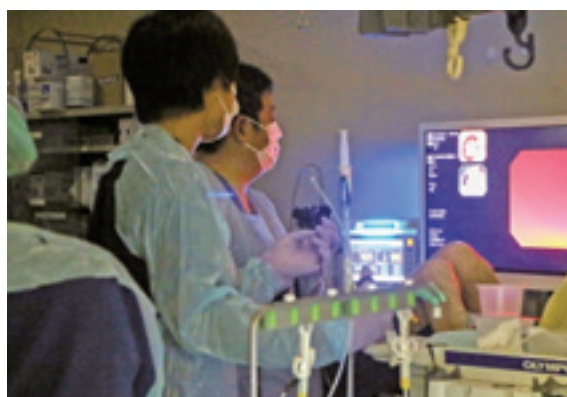
消化管疾患診療：当科の内視鏡システムは最新のオリンパス社製EVIS X1シリーズが導入されており、通常の上下部内視鏡に加え、シングルバルーン内視鏡による小腸内視鏡検査にも対応しています。治療では食道癌、胃癌に対するESD、大腸ポリープに対するポリペクトミーを行っています。また、スクリーニング検査では苦痛の少ない検査を心がけており、上部内視鏡検査を鎮静下で受けることが可能で、また経鼻内視鏡（オリンパス社製GIF-1200N）を3本用意しており、常時検査が可能です。下部内視鏡検査では細径内視鏡による苦痛の少ない検査も行っています。挿入が難しい例では、その場でCTコログラフィへの移行が可能です。

肝疾患診療：ウイルス肝疾患、自己免疫性肝疾患、脂肪性肝疾患などを中心に診療しています。肝疾患では肝生検などの精密検査も行っていますが、最近では脂肪性肝疾患に対して超音波診断装置（Canon社製Aplio i800）を用いた肝硬度測定、脂肪量測定も可能になっています。肝細胞癌に対する治療ではラジオ波凝固療法、マイクロ波凝固療法、肝動注塞栓化学療法などを行っています。肝動注塞栓化学療法では放射線IVR専門医と治療を行っています。

胆膵疾患診療：ERCP関連処置による精密検査や治療を行っています。経口胆道鏡（オリンパス社製CHF-B290）が導入されており、胆道の精密な検査が可能です。超音波内視鏡下での組織診、ドレナージ治療も行っており、胆膵領域の処置は福島医大や独協医大の専門医と一緒に最新の知見をもとに診療しております。

〈地域医療機関の先生方へ〉

各種消化器疾患に対する、スクリーニング検査から精密検査まで対応いたしますので、いつでもご相談・ご紹介いただけますと幸いです。宜しくお願いいたします。



診療実績（令和4年度）

●内視鏡検査

上部内視鏡 …… 3,491件
 下部内視鏡 …… 2,005件
 小腸内視鏡 …… 9件
 カプセル内視鏡 …… 8件
 ERCP関連検査 …… 68件
 超音波内視鏡関連検査 …… 275件

●レントゲン検査 胃瘻 …… 9件
 CTコロノグラフィ …… 178件

●エコー検査

腹部超音波 …… 2,997件
 ソナゾイド造影・RVS …… 37件
 エコー下生検 …… 63件

●カテーテル治療

肝動注・塞栓療法 …… 38件

●内視鏡治療

食道/胃ESD・EMR …… 126件
 大腸ポリペクトミー・EMR・ESD …… 716件
 食道・胃静脈瘤治療 …… 18件
 内視鏡の乳頭切開術 …… 74件
 ERCP関連治療（ステント留置等） …… 316件
 消化管ステント …… 77件
 イレウスチューブ …… 36件

●エコーガイド下処置治療

ラジオ波・マイクロ波凝固療法 …… 13件
 PTCド・PTGBD …… 68件

えじり ゆたか
江尻 豊



副院長・消化器科部長
 入院・外来診療部統括部長
 入退院支援センター室長
 勤労者医療総合センター副センター長
 地域医療連携室長・相談支援センター室長

■専門：消化器内科一般、消化器がん、消化器内視鏡

■資格：医学博士

福島県立医科大学 臨床教授（消化器内科）
 福島県立医科大学 消化器内科学 客員講師
 日本消化器病学会 専門医・指導医
 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
 日本超音波医学会 専門医・指導医
 日本肝臓病学会 専門医
 日本内科学会 認定内科医・指導医
 日本禁煙学会 禁煙認定指導医
 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
 緩和ケア指導者
 臨床研修指導医プログラム責任者
 放射線取扱主任者
 日本医師会認定産業医

すずき ともひろ
鈴木 智浩

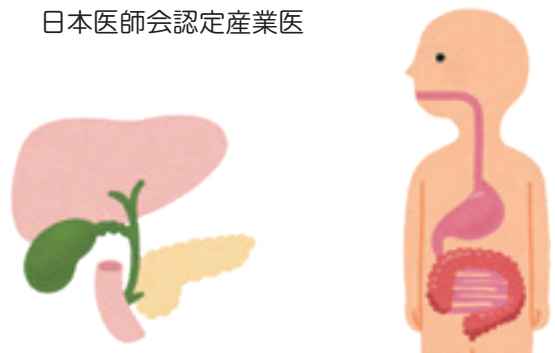


消化器科主任部長
 消化器病センター長

■専門：ウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、
 肝細胞癌

■資格：医学博士

日本内科学会 総合内科専門医・指導医
 日本肝臓学会 専門医・指導医
 日本消化器病学会 専門医・指導医
 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
 臨床研修指導医
 緩和ケア研修会修了
 日本医師会認定産業医





たい まゆみ
田井 真弓

消化器科部長
総合内科部長
栄養サポートセンター長

■専門：消化器内科一般

■資格：日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本肝臓学会 専門医・指導医
日本臨床栄養代謝学会 認定医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医
産業医科大学基本講座ディプロマ



いちい おさむ
市井 統

消化器科部長
内視鏡診療部長

■専門：消化器内科一般

■資格：日本内科学会 認定内科医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
がん治療認定医機構 がん治療認定医
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医

まつおか なおき
松岡 直紀

消化器科部長



■専門：消化器内科、リウマチ膠原病内科

■資格：医学博士
日本内科学会 総合内科専門医
日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本リウマチ病学会 専門医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了

かじたに けんた
梶谷 健太

消化器科医師



■専門：消化器内科一般

■資格：緩和ケア研修会修了

すがわら かなみ
菅原 奏弥

消化器科医師



■専門：消化器内科一般

■資格：産業医科大学基本講座ディプロマ
緩和ケア研修会修了



こはり けいすけ
小針 圭介

消化器科医師

■専門：消化器内科一般

■資格：緩和ケア研修会修了

いしだ こうすけ
石田 浩祐

消化器科医師



■専門：消化器内科一般

■資格：緩和ケア研修会修了

たまざわ かな
玉澤 歌菜

消化器科医師

■専門：消化器内科一般

■資格：緩和ケア研修会修了



リウマチ・膠原病内科

〈特 色〉

関節リウマチは、生物学的製剤の登場により治る可能性のある疾患になりました。生物学的製剤の種類も増え、病院での注射と自宅での自己注射が選択できます。膠原病は、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、シェーグレン症候群、ANCA関連血管炎、ベーチェット病等があります。いずれも厚生労働省の特定疾患に指定されており、ステロイド治療が主体となります。

リウマチ・膠原病は、内科疾患の中でも診断が難しく、確定診断までに時間がかかることも多い疾患です。専門医でないと診断がつかず、治療できないことがよくあります。しかし、全国的にリウマチ・膠原病の専門医は不足しています。福島県も同様で、とりわけいわき地区は少なく、これまでは福島市や郡山市等遠方の病院に通院していた患者様も多いと思います。今後は、地元で専門的治療を受けることができます。

扱える疾患

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、シェーグレン症候群、ANCA関連血管炎、ベーチェット病、リウマチ性多発筋痛症、強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、高安動脈炎、側頭動脈炎、IgG4関連疾患、成人スティル病

〈力を入れている取り組み〉

リウマチ性疾患に合併した間質性肺炎、呼吸器感染症

〈地域医療機関の先生方へ〉

福島県立医科大学リウマチ・膠原病内科と連携を取り、重症の場合は入院を依頼します。退院後は当院に通院できます。



さ さ じ ま ともみ
佐々島 朋美

リウマチ・膠原病内科主任部長

■専門：リウマチ、膠原病

■資格：医学博士

日本内科学会 認定医・専門医

日本リウマチ学会 専門医

日本結核・非結核性抗酸菌血症学会 認定医

臨床研修指導医プログラム責任者

ICD、緩和ケア研修会修了



民間医局レジナビフェア 2024 にて

《タバコ関連疾患治療センター》についても担当しております。

タバコに関連するすべての疾患の相談窓口となり、院内外から紹介を受け、患者様の症状に応じて当院の適切な診療科に紹介します。各科での精査・治療方針決定後、当センターに戻してもらい、紹介医へ逆紹介をします。

循環器科

〈特色〉

当科はいわき市のみならず浜通りの循環器疾患の患者様に対して外来診療、入院診療、救急診療、産業保健医を近隣の医療機関と連携して対応しています。

虚血性心疾患・末梢動脈疾患に対するカテーテルインターベンション、心不全・不整脈治療は勿論、福島県立医科大学附属病院と連携し抗不整脈デバイスの管理を行い肺高血圧専門外来も開設しています。

循環器診療には心臓血管外科との連携が欠かせませんが当院は近隣のいわき市医療センターと病病連携して対応しております。

また地域に根差した病院として循環器疾患と関連するいわゆる生活習慣病に関しても積極的に介入し循環器科疾患のみならず全人的な診療も行っております。



〈力を入れている取り組み〉

日本は超高齢化社会を迎え、それに伴い心不全患者様が増加し続けており、心疾患による死亡者数はがんに次いで死因の第2位を占めています。そのような状態になると、病院が高齢心不全患者様であふれ、病院が患者様を収容できなくなる事態が想定されることや莫大な医療費がかかることなど、社会的な問題となる可能性が考えられます。そのため、日常生活において心不全を予防し、再発させない治療が大切です。心臓病の患者様に対して行う運動療法いわゆる心臓リハビリテーションは心機能の改善や悪化の予防などに非常に有益であることが確認されています。当科では積極的に心臓リハビリテーションを勧めており、心不全のみならず狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患の患者様においても可能であれば入院・外来患者様に心臓リハビリテーションを施行しています。

また入院中の心不全患者様に対しては定期的に心不全カンファランスを開催しています。医師・看護師のみならず薬剤師、理学療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカー、心理療法士らによる多職種連携により患者様の社会的・経済的な背景もふまえて適切な治療方針を検討し、患者教育・生活指導・運動処方を試みています。

診療実績（令和4年度）

PCI治療（穿刺部位：橈骨動脈36・大腿動脈61）… 69件、POBA（経皮的冠動脈形成術）… 8件

STENT（経皮的冠動脈ステント留置術）…60件

心臓カテーテル検査（Cine angio）（穿刺部位：橈骨動脈97・大腿動脈62）… 159件

IVUS（血管内超音波検査）… 64件、アセチルコリン負荷（冠攣縮性狭心症の薬物誘発試験）… 4件

心筋生検 … 9件、IABP（大動脈バルーンパンピング法）… 5件、冠動脈CT … 91件

ペースメーカー植込術 … 31件、ペースメーカー交換術 … 36件

●生理検査

心臓超音波検査 … 2,852件、ホルター心電図 … 445件、ABI … 77件

脈管エコー … 305件、運動負荷心電図 … 35件

●心臓核医学検査

Tc安静心筋血流シンチ … 18件、Tc薬物負荷心筋血流シンチ … 8件

BMIPP心筋脂肪酸代謝シンチ … 2件、肺血流シンチ … 3件

よしなり かずゆき
吉成 和之

循環器科主任部長
リハビリテーション科部長



- 専門：虚血性心疾患、心不全
- 資格：医学博士
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医

わたなべ やすゆき
渡邊 康之

循環器科部長
放射線診断科部長



- 専門：虚血性心疾患、
心不全全般、ペースメーカー
- 資格：医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会 専門医
「植込み型除細動器/
ペースングによる心不全治療」研修修了
緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医、日本医師会認定産業医



さんど まさひと
三戸 征仁

循環器科部長

- 専門：循環器一般、虚血性心疾患の診断と治療
- 資格：医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本循環器学会 専門医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了



いそまつ だいすけ
磯松 大介

循環器科副部長



- 専門：循環器一般
- 資格：内科専門医
循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会
認定医
臨床研修指導医



すずき しげぶみ
鈴木 重文

循環器科部長
健康診断部長

- 専門：虚血性心疾患、心不全、心臓核医学診断、
心臓リハビリテーション
- 資格：医学博士
日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本核医学会 専門医・PET核医学認定医
日本循環器学会 専門医
社会医学系専門医協会 専門医
日本高血圧学会 専門医
労働衛生コンサルタント 保健衛生
日本心臓リハビリテーション学会 認定指導士
日本職業災害医学会 労災協力医
第4回全国労災病院臨床研修指導医講習会修了
緩和ケア研修会修了、臨床研修指導医プログラム責任者
日本医師会認定産業医



〈特 色〉

福島労災病院外科は、日本外科学会専門医制度修練施設・日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設で、現在7人（専門医5名／指導医2名：2024年4月現在）で診療しています。食道から肛門までの消化管と肝胆膵領域の疾患全てに対応する消化器外科を中心とし、甲状腺や乳腺疾患も含めた広範囲の外科診療に対応しています（※下記診療実績参照）。手術症例は例年800件（鏡視下手術は約200件）を超え、症例が多いことから、専門医を目指す外科医や専門医を取得した後に外科の技術を高めたい外科医には、良い修練の場でもあります。

〈力を入れている取り組み〉

手術の対象にがんが多い（全手術症例の約4割）ことから、術後の予防的抗がん剤治療や再発したがんへの抗がん剤治療、そして再切除手術、放射線治療医との連携、更にはがんによる辛い症状を緩和する緩和ケアも含めた集学的がん治療に力を入れています。外科の診療は外科医のみでは完結できないため、診療看護師や専門・認定看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士など多くの医療スタッフとのチームで対応することを大切にしています。また、昨今声高に唱えられるEBM（evidence-based medicine, 根拠に基づく医療）のみならず、NBM（narrative-based medicine, 患者様の思いに寄り添う医療）にも配慮した外科医療を心がけています。

診療実績

	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔症例	646	660	592
脊椎麻酔症例	8	8	17
局所麻酔症例	147	145	206
計	801	813	815

疾患臓器	手術件数（重複症例再掲有り）		
甲状腺（悪性）	23（11）	23（6）	18（8）
乳腺（悪性）	33（31）	30（26）	32（30）
食道（悪性）	8（7）	6（6）	8（8）
胃（悪性）／鏡視下	71（65）／24	62（56）／18	75（70）／24
小腸（悪性）	43（7）	34（5）	32（3）
大腸・肛門（悪性）／鏡視下	223（146）／66	214（139）／60	211（122）／34
消化管・その他の疾患	43	11	5
肝・胆道（悪性）／鏡視下	162（22）／118	153（12）／114	163（23）／114
膵・脾（悪性）／鏡視下	13（8）	11（8）／1	10（9）
ヘルニア	105	95	96
体表・外傷・その他	170	158	237
悪性腫瘍総件数	297	258	273

〈地域医療機関の先生方へ〉

当院は地域医療支援病院でもあり、外科は従来から『断らない外科』を標榜し、地域からの外科的対応依頼には即座の手術の可否を問わず、24時間救急対応しています。院外から紹介された患者様の治療内容は手術結果報告などで紹介元にフィードバックし、病状が重篤でない患者様、或いは抗がん剤治療などの反復的治療を終えた患者様は、地域の紹介元の先生と連携して診療する体制をお願いしています。がんの患者様などで術後5年を超えた場合でも、希望によっては検診的な観察を継続しています。患者様は、外科適応となった疾患以外にも多くの悩みや訴えを抱えています。手術という治療機会は外科医と患者様の大切な巡り会いでもあるので、原疾患以外のことでも気軽に声をかけていただければ幸いです。



むとう あつし
武藤 淳

副院長
外科主任部長
医療安全管理室長
中央診療部統括部長

■専門：一般外科、消化器外科、
がん化学療法、緩和医療、
医療マネジメント、クリニカルパス、
医療安全管理、教育研修

■資格：医学博士
福島県立医科大学客員講師
福島県立医科大学臨床教授
日本外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本胸部外科学会 認定医
臨床研修プログラム責任者
がん治療に携わる医師向け緩和ケア講習会指導者
日本メディエーター協会研修修了（基礎編）
看護師特定行為研修指導者
医療事故調査制度支援団体統括者セミナー修了
医療事故調査委支援センター
管理者実務者セミナー修了



みやざわ まさつぐ
宮澤 正紹

外科部長
院内感染対策室室長
消化器病センター副センター長

■専門：消化器一般外科、肝胆膵外科、内視鏡外科

■資格：医学博士
福島県立医科大学臨床教授
福島県立医科大学客員講師
日本外科学会 専門医・指導医
日本肝臓学会 専門医
日本癌治療学会 がん治療認定医
日本消化器外科学会
専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会
消化器・一般外科領域 技術認定医
日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医・評議員
Infection Control Doctor (ICD)
日本外科感染症学会
外科周術期感染管理認定医
外科周術期感染管理暫定教育医
麻酔科標榜医、緩和ケア研修会修了
日本医師会認定産業医、臨床研修指導医





いし い こう
石井 恒

外科部長

- 専門：消化器外科
- 資格：緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医



またよし かずひと
又吉 一仁

外科部長

- 専門：消化器外科、緩和医療、乳腺外科
- 資格：医学博士
日本消化器外科学会 認定医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本外科学会 専門医
日本乳癌学会 認定医
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会
検診マンモグラフィ読影認定医師A評価
麻酔科標榜医
臨床研修指導医
がん治療に関わる医師向け緩和ケア
講習会指導者

かね た あきな お
金田 晃尚

外科部長



- 専門：消化器外科
- 資格：外科専門医
日本消化器外科学会 専門医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
食道科認定医



なか の ひろし
仲野 宏

外科部長

- 専門：消化器外科
- 資格：医学博士
日本外科学会 専門医
日本消化器外科学会 専門医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構 認定医
日本消化器病学会 専門医
日本消化管学会 専門医
日本腹部救急医学会 認定医
日本乳癌学会 認定医
検診マンモグラフィ読影認定医
緩和ケア研修会修了
Total nutrition therapy (TNT) 研修会修了

うえ の みく
上野 未来

外科医師

- 専門：肝胆膵移植外科



呼吸器外科

(呼吸器疾患センター)

〈特色〉

2019年4月より産業医科大学（福岡県北九州市）から赴任し、呼吸器外科常勤医は2名で、日常診療は外科の先生方にご協力いただきながら、手術、病棟、外来診療を行っております。肺がんを中心とした肺、縦隔、胸壁などあらゆる胸部疾患の外科診療を行っております。

肺がんは日本で最も死亡数の多い病気です。早期であれば手術が最も治癒の期待できる治療法ですが、発見されたときには進行している場合が多く、放射線治療や抗がん剤治療を組み合わせた治療が選択されます。当科では、胸腔鏡手術などの低侵襲手術に積極的に取り組んでおり、進行症例においても集学的治療（放射線治療や抗がん剤治療、それらを組み合わせた手術療法）など適切な治療を選択しております。

産業医科大学第2外科（出身医局）のモットーである「自分や自分の家族が病気になったときに受たい医療を」を目指していわき市で邁進して参ります。

〈地域医療機関の先生方へ〉

肺がんを含めたがん診療は、現在プライマリケアから高度、先進医療に至るまで多岐に及んでおります。必要な場合は、産業医科大学第2外科より応援を得て外科診療にあたっております。

また、当院で対応が困難な場合は、福島県立医科大学やがんセンターなど病態に応じて紹介をさせていただきます。

扱える疾患

●胸部疾患の手術

(※胸腔鏡を用いた手術や検査も実施しています)

肺がん、転移性肺腫瘍（他臓器のがんが、肺へ転移したもの）
気胸、縦隔腫瘍、悪性胸膜中皮腫、膿胸
その他の疾患（胸壁腫瘍、胸腔鏡下肺組織生検など）

※特に原発性肺がんの手術では、産業医科大学第2外科の応援を得て診療にあっています。



ひらい あやこ
平井 文子

呼吸器外科主任部長
臨床工学部長

■専門：呼吸器外科

■資格：医学博士

日本外科学会 専門医

日本呼吸器外科学会 専門医

日本呼吸器内視鏡学会 専門医

がん治療認定医

臨床研修指導医

緩和ケア研修会修了

日本医師会認定産業医

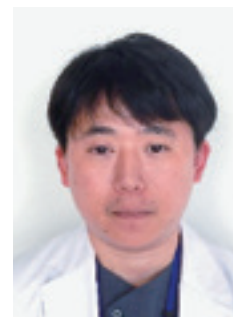
産業医科大学基本講座ディプロマ

めぐろ だいきち
目黒 大吉

呼吸器外科医師

■専門：呼吸器外科一般

■資格：緩和ケア研修会修了



整形外科

(上肢機能再建外科センター)

〈特色〉

当院では、従来対応してまいりました人工骨頭挿入術や外傷性骨折等の整形外科診療に加えて、肩関節・肘関節・手関節を中心に関節鏡を用いた低侵襲手術による専門的治療の提供を積極的に行っております。

スポーツ選手による競技活動から一般の日常生活動作の障害のすべてにおいて、上肢機能に障害をかかえる患者様に専門的知識および技術を駆使して治療にあたらせて頂きたいと存じます。

〈力を入れている取り組み〉

さらに2024年からは下肢荷重関節（股関節・膝関節）の痛みに対する専門的治療も行っていきます。「立って歩く」という生活の中で普通に行う動作が痛みのために制限されることを予防・改善し、生活の質を改善・維持できるよう手伝わさせていただきます。

〈地域医療機関の先生方へ〉

上肢機能障害（肩関節、肘、手関節機能障害）でお困りの患者様や学生のスポーツ障害に対しては、月曜日午後（午後2時から4時30分まで診療）および金曜日午前（午前10時から12時まで診療）にて特別診察診（完全予約診）を設けておりますのでお気軽に病院におたずねください。

扱える疾患

関節疾患（人工関節等）、外傷性骨折等に対する手術実施を中心とする診療、上下肢骨折および脱臼、上下肢スポーツ障害

●代表的な疾患

肩腱板断裂、肩関節脱臼、五十肩（凍結肩）、投球障害肩、肩・肘・手関節周囲の骨折、変形性手関節症・手根骨骨壊死、スポーツによる上肢機能障害、上肢神経障害、下肢変形性関節症、大腿骨頭壊死、膝骨壊死



たかせ かつみ
高瀬 勝己

副院長

整形外科部長

上肢機能再建外科センター長

東京医科大学運動機能再建外科学いわき地域教育寄付講座教授
第49回日本肩関節学会学術集会会長（2022年10月開催）

■専門：上肢機能再建

■学会役職：日本肩関節学会理事、代議員、日本肘関節学会評議員、日本手外科学会代議員

日本スポーツ整形外科学会代議員、日本膝関節学会評議員、韓国肩・膝関節外科学会名誉会員

■資格：医学博士

日本整形外科学会 専門医・スポーツ認定医・リウマチ認定医・認定脊椎脊髄病医

日本手外科学会 専門医

日本リウマチ学会 認定医





もりしま みつる
森島 満
整形外科主任部長

■専門：整形外科一般、関節・外傷

■資格：日本整形外科学会 専門医
日本人工関節学会 認定医
日本整形外科学会 認定リウマチ医



さきさか こうたろう
向坂 滉太郎
整形外科医師

■専門：整形外科一般



脳神経外科

〈特色〉

2021年4月に脳神経外科を開設しました。病院長を含め3名の常勤医で協力し、脳神経外科疾患全般における救急診療や一般外来診療、各疾患の手術や急性期治療などの入院診療に対応しています。

救急診療で最も多いのは脳卒中です。当院は日本脳卒中学会が認定する一次脳卒中センターおよび脳卒中研修教育施設です。市内ではいわき市医療センターと石井脳神経外科・眼科病院も一次脳卒中センターで、脳梗塞急性期のカテーテルによる血栓回収術はこの3施設しかできません。昔は治らなかった脳梗塞ですが、今は血栓回収術により後遺症なく回復することもあります。時間との戦いですので、脳梗塞を疑ったらできるだけ早く救急搬送をお願いします。脳出血に対する低侵襲な内視鏡血腫除去術や、くも膜下出血に対する破裂脳動脈瘤クリッピング術およびコイル塞栓術、外傷性頭蓋内出血に対する血腫除去術も積極的に行っています。

地域の先生との連携を大切に、救急を含めたご紹介には速やかに応じるように努めていますので、いつでもお気軽にご連絡ください。

〈力を入れている取り組み〉

予定手術の場合には、患者様には常にわかりやすい説明を心がけ、十分に理解していただいた上で、最善の治療をすすめています。齋藤院長は治療の難しい脳腫瘍を専門としており、髄膜腫、聴神経鞘腫、下垂体腺腫など多くの脳腫瘍を手術してきました。その経験に加えて、遠藤医師（非常勤）と鳴瀬医師は3D外視鏡や内視鏡という新しい機器による高精細モニター手術を得意としており、当院の脳腫瘍手術は顕微鏡手術から外視鏡・内視鏡手術という低侵襲な手術に進化しました。三叉神経痛や顔面痙攣に対する微小血管減圧術も、内視鏡を用いて低侵襲に手術しています。また、消化器科や外科によるがん診療は当院診療の柱ですので、転移性脳腫瘍に対する手術や放射線治療も行っています。

脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、頸部内頸動脈狭窄に対するステント留置術などの脳血管内治療は、福島県立医科大学の脳血管内治療専門医に来ていただき実施しています。



扱える疾患

- ・脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）
- ・脳腫瘍
良性脳腫瘍（髄膜腫、下垂体腫瘍、神経鞘腫など）
悪性腫瘍（神経膠腫、転移性脳腫瘍など）
- ・頭部外傷
- ・機能的疾患（三叉神経痛、顔面痙攣、てんかんなど）
- ・その他の疾患（水頭症、炎症性疾患など）

主な手術件数

2023年度（計157件）

疾患名	手術方法	件数
脳血管障害		
脳出血	穿頭脳内血腫除去術（内視鏡手術）	16件
脳動脈瘤	開頭クリッピング術（顕微鏡手術）	8件
	コイル塞栓術（血管内手術）	2件
脳梗塞	機械的血栓回収術（血管内手術）	13件
脳腫瘍		
髄膜腫・神経鞘腫など	開頭腫瘍摘出術（外視鏡・内視鏡手術）	13件
下垂体腫瘍	経鼻的腫瘍摘出術（内視鏡手術）	5件
転移性脳腫瘍	開頭腫瘍摘出術（外視鏡・内視鏡手術）	7件
頭部外傷		
慢性硬膜下血腫	穿頭血腫除去術	48件
急性硬膜下血腫	開頭血腫除去術	6件
機能的疾患		
三叉神経痛・顔面痙攣	神経血管減圧術（内視鏡手術）	8件
水頭症		
正常圧水頭症など	腰椎腹腔シャント術	8件

外視鏡・内視鏡による高精細モニター手術風景

外視鏡による手術

術野の外においた外視鏡の画像を
3Dメガネをかけて立体的にみて手術



内視鏡手術

術野のなかに入れた内視鏡の
高精細で広角の画像をみて手術





さいとう きよし
齋藤 清

病院長
脳神経外科主任部長
勤労者医療総合センター長

■専門：脳腫瘍、間脳下垂体腫瘍、頭蓋底部腫瘍、
頭蓋底外科手術

■資格：医学博士
脳神経外科専門医
日本脳卒中学会 専門医
日本脳卒中学会 指導医
日本神経内視鏡学会 技術認定医
日本小児神経外科学会 認定医
緩和ケア研修会修了



なるせ ゆう
鳴瀬 悠

脳神経外科副部長

■専門：脳神経外科一般

■資格：日本脳神経外科学会 専門医
脳血栓回収療法実施医



えんどう みお
遠藤 未緒

脳神経外科医師



■専門：脳神経外科一般、神経内視鏡術

■資格：日本脳神経外科学会 専門医
脳血栓回収実施医
日本神経内視鏡学会 技術認定医

かまむら みほ
鎌村 美歩

脳神経外科医師



■専門：脳神経外科一般

■資格：緩和ケア研修会修了



眼 科

〈特 色〉

眼科診療一般につき親切、丁寧な診療を心がけ、常に最新の医療を提供しています。また、病院内の各科との連携を生かした診療をおこなっています。

一般外来は火～金曜の午前です。手術日は月曜日の午前、水曜日の午後です。火・木・金の午後は完全予約診療で、手術前検査、視野検査、光凝固治療、外来小手術等を行っています。



〈力を入れている取り組み〉

視能訓練士が常勤し、様々な検査（視力検査、視野検査など）や、めがねあわせ、コンタクトレンズあわせも行っております。

また、乳幼児検診の二次検査をふくむ、小児眼科（斜視、弱視治療）にも力をいれています。

ロービジョンケアとして医療ソーシャルワーカーと協力し、身体障害者様の資格申請、医療相談、福祉相談を行っています。また、拡大読書器、弱視レンズ等の実物を紹介、試用していただき、視覚障害者様の私生活向上を図っています。

〈地域医療医機関の先生方へ〉

当院では、現在のところ、白内障手術は入院での対応となっています。全身疾患のあるリスクの高い患者様においても、他科と連携をとりながら手術が可能です。

手術治療は斜視手術、眼瞼下垂手術、内反症手術なども行っていますが、すべて局所麻酔で施行しており、全身麻酔では対応していません。全身麻酔が必要になる手術の場合には、（小児、認知症のかた、眼窩壁骨折、涙道手術など）においては、他院への紹介としております。また、硝子体手術が必要な疾患（硝子体出血、重傷糖尿病網膜症、網膜剥離など）においても他院紹介としています。

加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症などの抗VEGF薬硝子体注射も随時おこなっております。適応症例がありましたら、ご紹介ください。



すずき せつこ
鈴木 説子

眼科主任部長



■専門：屈折調節、特殊コンタクトレンズ

■資格：医学博士

日本眼科学会 専門医

耳鼻咽喉科

〈特色〉

耳鼻咽喉科の診療に関して、最新で適切な診断および治療を心がけています。

手術治療に関しては、慢性副鼻腔炎、鼻副鼻腔腫瘍に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術および頸部腫瘍（耳下腺、甲状腺、顎下腺）手術などを中心に、安全で確実な手術を積み重ねて参りました。

特に2019年3月より内視鏡下鼻内副鼻腔手術において、ナビゲーションシステム（メドトロニック社製Fusion Compact ENTナビゲーションシステム）を導入し、近年増加している好酸球性副鼻腔炎症例に対しても、合併症のない安全で十分な手術を提供しております。鼻副鼻腔手術は20～30件/年行っております。



学会認定施設：日本耳鼻咽喉科学会 専門研修連携施設



すずき やすし
鈴木 康士

耳鼻咽喉科主任部長

- 専門：内視鏡下鼻・副鼻腔手術（副鼻腔炎、副鼻腔腫瘍、アレルギー性鼻炎、鼻中隔湾曲症など）
頸部腫瘍に対する手術（耳下腺、甲状腺、顎下腺、頸部嚢胞など）
- 資格：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門医
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門研修指導医
日本耳鼻咽喉科学会頭頸部外科学会 補聴器相談医

〈地域医療機関の先生方へ〉

耳、鼻、咽喉頭、頭頸部領域でお困りのこと、あるいは当科関連が疑われることなどについて、できる限り迅速、十分にお応えできるように心がけております。

福島労災病院に勤務して16年になります。今後もより良い医療を提供して地域医療に貢献していきたいと思っております。

何かありましたら、ご相談、ご紹介いただければ幸いです。



放射線治療科

〈特 色〉

放射線治療は、手術、薬物治療とともに、がんの三大治療の一つです。放射線治療の魅力は、臓器の機能や形態を残したままで治療できること、高齢者や合併症があっても治療が受けられることです。

当院ではックス線および電子線による高精度治療を行っています。昨年10月からは、放射線専門医が2名となり、通常の3次元原体照射（3DCRT）や定位放射線治療（SBRT）に加えて、強度変調放射線治療（IMRT）を保険診療として実施できる体制が整いました。前立腺癌のIMRTでは、ハイドロゲルスペース（Space OAR®）を治療前に挿入し、直腸障害の軽減が図れています。小型肺がん、肝がん、膵がん、椎体骨転移に対する定位体幹部放射線治療（SBRT）は、4～10回の短期間で治療を終了できます。

がんによる様々な症状を和らげるための「緩和照射」にも力を注いでいます。骨転移による痛み、脊髄圧迫症状、がんからの出血や疼痛、脳転移、血管やリンパの圧迫による浮腫などでお困りの患者様がおられましたらご紹介ください。また、少数の遠隔転移に対する定位放射線治療（SBRT）は、生存期間の延長が得られることから、保険診療として実施可能となっています。免疫チェックポイント製剤との併用も有効とされており、小さな転移であれば、休薬することなく放射線治療が可能です。

扱える疾患

すべての悪性腫瘍（がんや肉腫）や一部の良性疾患が放射線治療の対象となります。当院で治療困難な患者様は、福島県立医大や筑波大学をはじめとして、適切な施設をご紹介します。

〈地域医療機関の先生方へ〉

放射線治療の適応に関する相談は、地域医療連携を通してご紹介ください。電話での相談にも対応させていただきます。通院困難な患者様は、放射線治療科に入院も可能です。

たまき よしお
玉木 義雄
放射線治療科部長



■専門：放射線治療全般

■資格：医学博士

福島県立医科大学 特任教授
同 地域医療支援センター認定指導医
日本専門医機構 放射線専門医
日本医学放射線学会/日本放射線腫瘍学会
放射線治療専門医
日本医学放射線学会 研修指導医
日本がん治療認定機構 がん治療認定医
日本ハイパーサーミア学会 指導医
緩和ケア研修会修了



たけはら ゆか
竹原 由佳
放射線治療科医師

■専門：放射線治療一般

■資格：日本医学放射線学会 専門医
日本放射線腫瘍学会 専門医
緩和研修会修了

病理診断科

〈特色〉

スタッフは常勤病理医1名、臨床検査技師3名で構成されています。また長年当院で病理診断に携わられた箱崎半道医師に週1日、診断と助言をいただいています。

主な業務は生検／手術検体の組織診断、細胞診断、術中迅速診断、病理解剖です。当院の強みである消化器科や外科からの検体が多くを占めているのが特徴です。各診療科の学会発表支援、初期臨床研修医によるCPC（臨床病理検討会）の指導も行っています。



〈地域医療機関の先生方へメッセージ〉

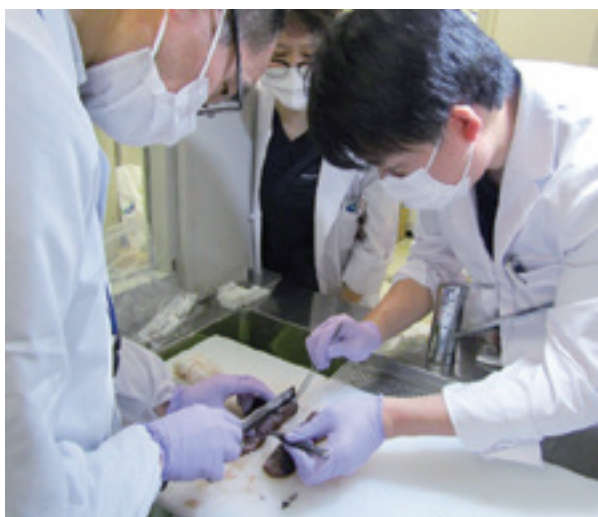
細胞診は検体採取から翌日、内視鏡などからの生検は2～3日、手術検体は約1週間で病理診断書として主治医に報告し、早期に治療方針が決定できるよう努めています。手術検体の切り出しは、過固定にならないよう原則手術の翌朝に行っています。特に肺癌の切り出しは胸膜浸潤や断端の位置を考慮した断面作成が求められるため、全例について呼吸器外科医の立ち会いのもとで行っております。

病理診断は疾患概念や腫瘍組織分類についての知見が日々進歩しているため、最新のガイドラインや取扱い規約に沿うように心がけています。特殊染色や免疫染色を追加しても診断が難しい症例は、日本病理学会・国立がん研究センター病理診断コンサルテーションシステムや福島病理研究所などに診断意見を仰いで対応しています。

診断件数

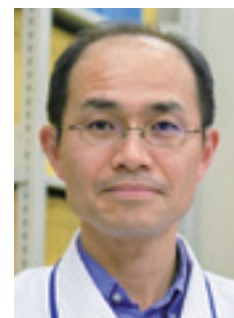
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
組織診断	2,988	3,430	3,286	3,374	3,054
細胞診断	1,429	1,709	1,487	1,566	1,548
術中迅速診断	279	317	307	327	299
病理解剖	2	2	1	0	1

最近では分子標的薬が普及し、従来の形態診断に加えて分子診断や遺伝子パネル検査がなされるようになってきました。核酸品質が良好に保たれたホルマリン固定パラフィン包埋検体を作成するために、適切な工程管理が求められます。臓器摘出後の適切な腫瘍部採取と速やかなホルマリン固定も重要なので、大腸癌では切除断端の術中迅速診断と同時に腫瘍部採取も行っています。



かとう ともや
加藤 智也

検査科主任部長
病理診断科主任部長



■専門：病理診断学

■資格：日本専門医機構 病理専門医
日本病理学会 病理専門医研修指導医
日本臨床細胞学会 細胞診専門医
厚生労働省 死体解剖資格認定

麻 酔 科

〈特 色〉

- ・ 周術期の安全な管理、特に手術中の安全管理。
- ・ 手術後の疼痛管理（硬膜外麻酔、超音波ガイド下神経ブロック、PCAなど）

麻酔は全身麻酔・区域麻酔・局所麻酔などあります。麻酔科医は、手術を受けられる患者様の安全を確保し、手術後に早期回復することへのお手伝いをしております。ご質問・不安な点などありましたら遠慮なくお問い合わせください。



皮 膚 科

一般皮膚科診療に加え、皮膚リンパ腫、膠原病、自己免疫性水疱症（天疱瘡、類天疱瘡など）、皮膚ウイルス感染症など皮膚疾患全般を幅広く取り扱っています。

月曜日、火曜日は地域の医療機関からの紹介患者様に加え、皮膚症状で受診希望の方の診療を行います。

金曜日は午前中のみ診療で、福島県立医大医師による予約制の外来診療です。初診診療は行っておりませんのでご了承ください。

いわつき けいじ
岩月 啓氏 医師（月・火曜日のみ）

【略歴】 岡山大学名誉教授

泌 尿 器 科

常勤医師不在の為、診療応援医師による外来診療を実施しております。

原則として、医療機関からのご紹介による予約診療となっております。診療予約がない場合、当日の診療対応が出来ない場合、または診療まで相当の待ち時間が発生する場合があります。診療の予約は、医療機関からのご紹介を基に地域医療連携室にて取次いたします。患者様または患者様のご家族からの直接ご予約は行っておりませんのでご了承ください。

なお、入院診療が必要となる場合や体外衝撃波結石破碎術（ESWL）の適応となる場合など、必要に応じて他の医療機関に紹介させていただく場合がありますので予めご了承ください。

月・水 **東京女子医大より診療応援**
金 **常磐病院より診療応援**

や ない ひろむね
矢内 裕宗

麻酔科部長
中央手術部部長



■専門：麻酔科一般

■資格：医学博士

日本麻酔科学会 指導医
日本救急医学会 専門医
日本専門医機構 麻酔科専門医
日本医師会認定 産業医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了

婦 人 科

女性総合外来として、いわき地区の皆様により良い診療を提供して参りたいと思います。

扱える疾患

- ・婦人科一般疾患
- ・更年期障害、更年期うつ病
- ・月経前症候群、月経前不快症状
- ・骨粗しょう症の予防と治療
- ・排尿障害（頻尿、尿失禁など）

※不妊症、手術・入院が必要な症例、救急診療は対応困難であることをご了承ください。

にしやま ひろし
西山 浩 医師

【略歴】

いわき市医療センター 産婦人科部長

【資格】

医学博士

母体保護法指定医師

日本産婦人科学会 認定医・指導医

日本婦人科腫瘍学会 専門医・指導医

日本臨床細胞学会 細胞診専門医

日本がん治療認定医機構 認定医

緩和ケアの基本教育に関する都道府県指導者

すずき ようすけ
鈴木 庸介 医師

【略歴】

かしま病院 婦人科部長

【資格】

医学博士

産婦人科専門医

（日本産婦人科学会、日本専門医機構）

母体保護法指定医師（日本産婦人科医会）

日本医師会 認定産業医（日本医師会）

病院総合医（日本病院会）

くりした まさひろ
栗下 昌弘 医師

【略歴】

聖路加国際病院 女性総合診療部医長

亀田総合病院 幕張事業部 産婦人科部長

日本公務員共済組合連合会 東京共済病院婦人科部長

【資格】

医学博士

日本産婦人科学会 専門医

日本女性医学学会 認定女性ヘルスケア専門医

日本心身医学会 認定心身医療「産婦人科」専門医

日本医師会 認定産業医



医療専門資格・認定資格紹介

看護部（部門・リソースナーズ紹介）

【看護提供方式】

固定チーム継続受け持ち制

【教育体制】

キャリア開発支援として、目標管理とキャリアラダー教育を連動させ支援を行っています。

【各種資格支援制度】

専門看護師・認定看護師資格取得、資格維持支援
特定行為研修を院内で実施

【専門看護師・認定看護師・特定行為看護師】

専門看護師 1名	がん看護専門看護師 1名
認定看護師 6名	皮膚・排泄ケア、がん化学療法看護、緩和ケア
	感染管理、認知症看護、集中ケア
特定行為看護師 5名	診療看護師（1名）
	特定行為研修修了者 4名（特定行為研修受講者1名）

がん看護専門看護師

- ・がん患者様の症状コントロール
- ・意思決定支援
- ・家族ケア 【四家智恵】



がん化学療法看護認定看護師

- ・抗がん剤による副作用症状のサポート
 - ・治療時の不安や困りごと
- 【金澤かつみ】



看護のお悩みを
一緒に解決しましょう！

皮膚・排泄ケア認定看護師

- ・褥瘡ケア・創傷ケア・瘻孔ケア
- ・失禁ケア（尿や便の漏れによる皮膚障害など）
- ・ストーマケア 【蛭田理絵】



認知症看護認定看護師

- ・行動・心理症状へのケア
- ・安心につながる声かけ
- ・家族ケア 【菅野美香】



がん性疼痛が
なかなか軽減
しない

褥瘡ができて
しまった

最近薬の飲み
残しが増えた

家庭でできる
感染予防は？

抗がん剤の副
作用っていつ
良くなる？

感染管理認定看護師

AMRアクションプランなど、地域の感染対策に取り組みたいと思います。相談や研修の依頼などお気軽にご相談ください。 【加賀陽子】



薬 剤 部

〈特 色〉

我々はくすりのスペシャリストとして日常診療のみならず高度医療の現場で、必要な薬の最新情報と知識を提供し、薬物療法の有効性と安全性を支える一員として病院の医療を支えています。

そして最新の医療と医薬品の急速な進歩に反応し、チーム医療の中で多種の疾患に対する有害事象の回避に努めながら、医師、他のスタッフへ情報・知識を提供していくことで、安全・確実な治療を行うための支えとなっています。

また抗がん剤の調製、ワクチンなどの患者様に投与される薬剤の品質を保証すること、重篤な入院患者様に対しては専任薬剤師を通し、投与される薬物の有効性・安全性の確保に積極的に取り組んでいます。これからも病院薬剤師は幅広い知識と経験を活かし、各医療分野のスペシャリストとなり、来年2025年以降の大きな課題でもある超高齢化社会への備えとして様々な疾患に対応できる専門性を発揮し、いわき市の医療従事者として貢献していきます。



日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	2名
日本病院薬剤師会 薬学認定薬剤師	5名
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師	7名
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師	6名
日本薬剤師研修センター 認定薬剤師	2名
日本緩和医療薬学会 麻薬教育認定薬剤師	1名
日本医療情報学会 医療情報技師	1名
公認スポーツファーマシスト	1名
日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士	2名
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	2名
日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師	1名
骨粗鬆症学会 骨粗鬆症マネージャー	2名
安全衛生技術試験協会 第一種衛生管理者	3名
国際医療リスクマネジメント学会高度医薬品安全推進者	1名
国際医療リスクマネジメント学会高度安全推進者	1名
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	1名
日本臨床腫瘍学会 がんゲノム医療コーディネーター	1名
労働者健康安全機構 両立支援コーディネーター	1名
日本麻酔学会 周術期管理チーム認定薬剤師	1名
肝炎医療コーディネーター	12名
心不全療養指導師	1名

中央検査部

〈特色〉

中央検査部は、患者様から採取された血液や尿などの検体を分析し、身体内部の状態を超音波などの検査機器で調査します。また、細菌感染の有無や組織の検査も行い、医師の診断を補助しています。部門には検体検査、輸血検査、細菌検査、生理検査、病理・細胞診検査が含まれており、専門資格を持つスタッフが活躍しています。

検体検査部門では、尿や便、体腔液などの検体を調査し、蛋白や糖の有無、悪性細胞の検出などを行います。血液検査では、自動血球計数器で赤血球数や白血球数を計測し、凝固検査では血液の固まり具合を調べます。生化学検査では、血清や尿の成分を分析します。感染症検査も行い、ウイルス感染や梅毒の検出をサポートします。

輸血検査部門では、輸血の安全性を確保するために血液型や不規則抗体の検査を行います。

細菌検査部門は、病気の原因となる細菌を探し、適切な治療法を提案します。院内感染対策にも取り組んでいます。

生理検査部門では、心電図や肺機能検査、超音波検査などを実施しています。

病理・細胞診検査部門は、臨床各科から提出される組織の病変に対して最終診断を行い、治療方針の決定に役立っています。



《認定資格》

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1. 糖尿病療養指導士 | 1名 |
| 2. 超音波検査士 | 6名 |
| 3. 輸血認定技師 | 1名 |
| 4. 栄養サポートチーム（NST）専門療法士 | 1名 |
| 5. 福島県県民健康調査 甲状腺超音波検査者認定 | 3名 |
| 6. 輸血機能評価認定制度監視員（I & A） | 1名 |
| 7. 福島県肝炎医療コーディネーター | 11名 |

《労働衛生関連資格》

- | | |
|----------------|----|
| 1. 特定化学物質作業主任者 | 3名 |
| 2. 有機溶剤作業主任者 | 3名 |

《2023年度超音波実績》

腹部超音波	2,691件
心臓超音波	2,693件
頸動脈超音波	145件
甲状腺超音波	161件
末梢血管超音波	234件



中央放射線部

中央放射線部は、CT検査やMRI・血管造影・核医学検査など、高度な画像診断装置を駆使した質の高い医用画像の提供や、高エネルギー放射線による放射線治療などの診療業務をおこなっています。

2017年に『医療被ばく低減施設』の認定を取得し（福島県には3施設）、日々の業務の中において、厳格な装置保守管理や被ばく線量管理を実践しています。結果として、施設認定を受けた施設では、全国の平均的な医療被ばく線量よりも少ない量での撮影が可能になります。あわせて、装置毎の特性を最大限に活用すべく、新しい撮影スキルや管理知識等の高い専門性を身につけるように日々研鑽しています。

その一例として、保有するCT装置には、『AI（人工知能）』を用いた最新の技術が搭載されています。AIの効果により、被ばく線量を少なくしながら高画質な診断画像を得ることが可能になり、従来使用していたCT装置の5分の1程度まで被ばく線量を抑えることができました。

患者様中心のチーム医療として一翼を担い、診療放射線技師の職責として、今後も、質の高い診断情報の提供と医療被ばく線量低減の遂行に努力を重ねてまいります。

第1種放射線取扱主任者	2名
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	1名
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	3名
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師	3名
日本X線CT専門技師認定機構 X線CT認定技師	1名
肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定技師	1名
日本消化器がん検診学会 大腸CT検査技師	1名
日本医療情報学会 医療情報技師	2名
日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構 医用画像情報専門技師	1名
日本放射線技師会 放射線管理士	2名
日本放射線技師会 放射線機器管理士	2名
日本放射線技師会 医療画像情報精度管理士	1名
日本放射線技師会 画像等手術支援認定診療放射線技師	1名
日本放射線技師会 A i 認定診療放射線技師	1名
日本放射線技師会 臨床実習指導教員	1名
医療研修推進財団 診療放射線技師実習施設指導者	1名



©2023年度実績

CT	14,885件
MRI	3,271件
血管造影	469件
RI	487件
骨密度	655件



中央リハビリテーション部



『リハビリテーション』という言葉の意味はご存じでしょうか？

『リハビリテーション』(Rehabilitation) は、re (再び) とhabilis (適した) から成り立っています。つまり、単なる機能回復ではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリテーションなのです。

病気や外傷によって、心身の機能障害を持った患者様に対し、できる限りの回復を図り、残された能力を最大限に高め、身体的・精神的・社会的にできる限り自立した生活が送れるよう援助することで再び家庭や社会で生活できることを目指すものです。

当院では主治医をはじめ、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多くの専門職が連携しチーム医療を推進することで、患者様やご家族の“その人らしく生きる”ということを目指に取り組みます。



対象疾患

脳血管疾患	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍など
運動器疾患	各骨折、変形性関節症、関節リウマチ、腱板断裂、神経損傷など
心大血管疾患	心不全、心筋梗塞、弁膜症など
呼吸器疾患	肺炎、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患など
がん疾患	手術、化学療法、放射線治療目的の入院など
その他疾患	廃用症候群など

資格

心臓リハビリテーション指導士	2名
3学会合同呼吸療法認定士	2名

在籍セラピスト

理学療法士	9名
作業療法士	4名
言語聴覚士	1名



内視鏡診療部



2024年4月1日より福島労災病院に内視鏡診療部が新設されました。

現在の内視鏡室は医療事務1名、看護師5名、助手2名体制で診療しております。

患者様にはわかりやすく、スムーズで、不安のないように内視鏡検査を受けていただけるように気を付けております。内視鏡が苦手な方も多数いらっしゃると思いますので、経鼻内視鏡や鎮静剤投与下での内視鏡なども可能となっております。ただし鎮静剤使用時はご自身での運転は控えていただくので、予約の時点で希望を伝えていただければ幸いです。

近年は医療機器の進歩も著しく、内視鏡で治療可能な病気が増えてきております。

今までよりさらに専門的で高度な治療を提供できるように努めてまいります。

ちなみに現在の実績などは消化器科の案内をご参照ください。

内視鏡室で勤務する医師は消化器科の部長職4名に加えて福島県立医科大学附属病院、産業医科大学附属病院、獨協医科大学附属病院などから若手の先生方が赴任されております。さらに水曜日には獨協医科大学附属病院、金曜日には福島県立医科大学附属病院から指導医が来院されて、出来るだけ地元のいわきで大学病院レベルの治療を受けられるような体制を整えております。木曜日には地元の田畑クリニックの先生が検査応援にきていただいております。気管支鏡検査などは呼吸器科医師・呼吸器外科医師が担当しております。

今後はますます内視鏡による検査や治療が増えていくと思われまますので、常に新しい情報などを取り入れて、身近な病院で安心して医療を受けられる体制づくりに努力していきたく思いますのでよろしくお願い致します。

内視鏡診療部 部長 市井 統（おさむ）



入退院支援センター

●入院支援 看護師 2名

入院予約となった患者様に入院前に面談をさせて頂き（令和5年度2,883件）、入院生活の説明や入院後の治療経過の説明、患者様の生活状況（身体や精神・社会的背景など）を把握します。また、入院に必要な文書を作成し病棟との連携を図っています。入院に関する様々な不安は、解決に向けて専門看護師やMSW等と連携できるように調整します。

●退院支援 看護師 6名 MSW 1名

退院に向けてスムーズに療養先の決定や生活指導内容など患者様やご家族の要望を考慮し病棟看護師と一緒に情報提供して参ります。MSWの協力を得ながら、地域の居宅事業所や訪問看護ステーションとも連携して退院後の生活をサポートしていきます。

またその病状から、医療機器や管など挿入したまま帰宅される患者様には、病棟看護師と共にアフターケアで在宅訪問もしています。（令和5年度41件訪問）



相談支援センター（MSW）

●医療ソーシャルワーカー 3名

疾病を抱える患者様が住み慣れた地域において自立した生活を送ることができるよう、社会福祉の立場から、院内外の様々な専門職と連携し、心理的・社会的な問題の解決のお手伝いをします。また、当センターでは、がん相談や治療と仕事の両立支援の窓口の機能も担っています。当院に受診歴のない患者様・ご家族・事業場からの相談もお受けしますので、お気軽にご相談ください。

（令和5年度 利用者数1,523人）

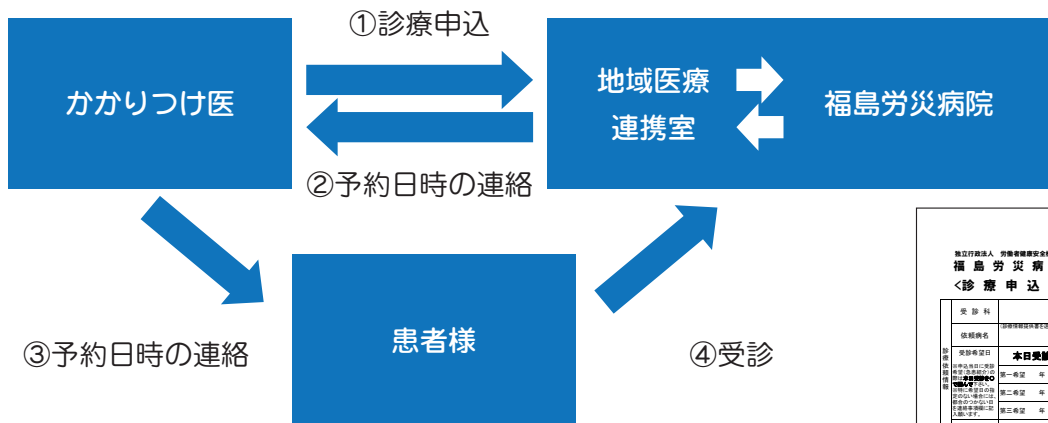


地域医療連携室のご案内

●患者様へご案内

地域医療連携室は、医療機関の間で患者紹介を扱う専用部門になります。ご本人、患者様のご家族からの診療予約を地域医療連携室にご依頼いただくことは出来ませんのでご了承ください。恐れ入りますが、かかりつけの医療機関から、当院地域医療連携室あて診療申込書をお送りいただくよう、かかりつけの医療機関にご相談くださいますようお願いいたします。

●診療予約の流れ



独立行政法人 労働者健康福祉機構 福島労災病院 ＜診療申込書＞		申込年月日：令和（ ）年 月 日
受診科		希望医師名
依頼者名 <small>（診療情報提供書を送付する医療機関に必ず）</small>		
受診希望日	本日受診希望（○で囲む）	直近日受診希望
診察希望時間	第一希望 年 月 日（ ）	連絡事項等（診察の予定が変更された場合は）
	第二希望 年 月 日（ ）	
	第三希望 年 月 日（ ）	
入院希望	有（希望希望 有・無）	入院希望理由（希望希望の希望） 有・無
2/2/2		
患者氏名	性別	性 別 男 ・ 女
生年月日	電話番号	（ ） （ ） （ ） - （ ） （ ）
生年月日	（西暦） 年 ・ 月 ・ 日	（西暦） 年 月 日 生（歳）
居住地	〒 -	
労災発症経緯	（有・無） 発 症 経 緯 詳細に記述 （労災発症経緯）	
保険者番号	健康保険者番号	国民健康保険者番号
記号・番号	健康保険者番号	
健康保険者区分	本人 ・ 家族	給付割合 1期 ・ 2期 ・ 3期 ・ その他は別
住 居 号	〒 -	
依頼者印名		
依頼者印名		
TEL	緊急連絡先（TEL）	

※付：MHLWが平成26年度診療情報提供書への対応の開始、診療情報提供書申込書をご提供いたします。

●医療機関の皆様へご案内

1. 患者紹介について

患者様の紹介を申し込まれる際には、病診連携診療申込書をご利用ください。

申込書は病院のホームページからファイルをダウンロードできます。またはお電話いただければ用紙をFAX送信いたします。

診療情報提供書及び診療申込書の所定事項（受診予定日、患者属性情報、保険情報、予約有無、診察希望医師）を記入し、FAXでお申し込み頂きます。

紹介申込先 TEL：0120-00-2181 FAX：0120-12-6610

2. 申込の返信について

申込を受け付けますと、受診の日時を記入した予約通知票をFAXで送信いたします。

3. 来院時について

患者様が来院の際は、紹介状・マイナンバーカード（又は保険証）をお持ちになって、直接各診療科外来の受付へお越し下さいますようご指導お願いいたします。

4. 初診料について

当院では、紹介状をお持ちでない患者様からは保険外併用療養費（7,700円）をいただいております。FAXで診療申込を利用される患者様は保険外併用療養費が不要となります。

前もってカルテを作成し各科外来受付に用意しておきますので、患者様が来院の際に医事課での受付の必要が無く、時間の短縮になります。

●放射線科検査申込方法について

放射線科検査の申込につきましては、下記申込用紙をご記入のうえ、当院地域医療連携室にFAXいただきますようお願いいたします。

(申込書は当院ホームページからダウンロードできます。またはお電話いただければ用紙をFAX送信いたします。)



診療申込書

CT問診票、CT同意書
MRI問診票、MRI同意書
放射線科検査一覧表



検査日時につきましては、お申込を受けたのち、日時を確定次第、ご依頼医療機関様に予約通知票をFAXにてご連絡させていただきます。また、CT及びMRIに関しては、検査問診票・同意書を予め患者様にご記入いただきますこと、医師確認欄へのサインをいただきますようお願い申し上げます。(なお、原本につきましては当日患者様に当院に持参いただきますようお願い申し上げます。)

①依頼

・別添申込用紙を記載し、(当院ホームページでのダウンロードも可) 当院地域連携室にFAXにて申し込む。

②ご返事

・当院にて実施日時を決定したあと、ご依頼医療機関様に予約通知票を送信いたします。

③日程決定後

・ご依頼医療機関様は患者様に検査日時をお伝えいただくと共に、CT・MRI検査の場合は**問診票・同意書**をご記載いただき、患者様に検査当日ご持参の旨を伝えお渡しいたします。

フロアマップ

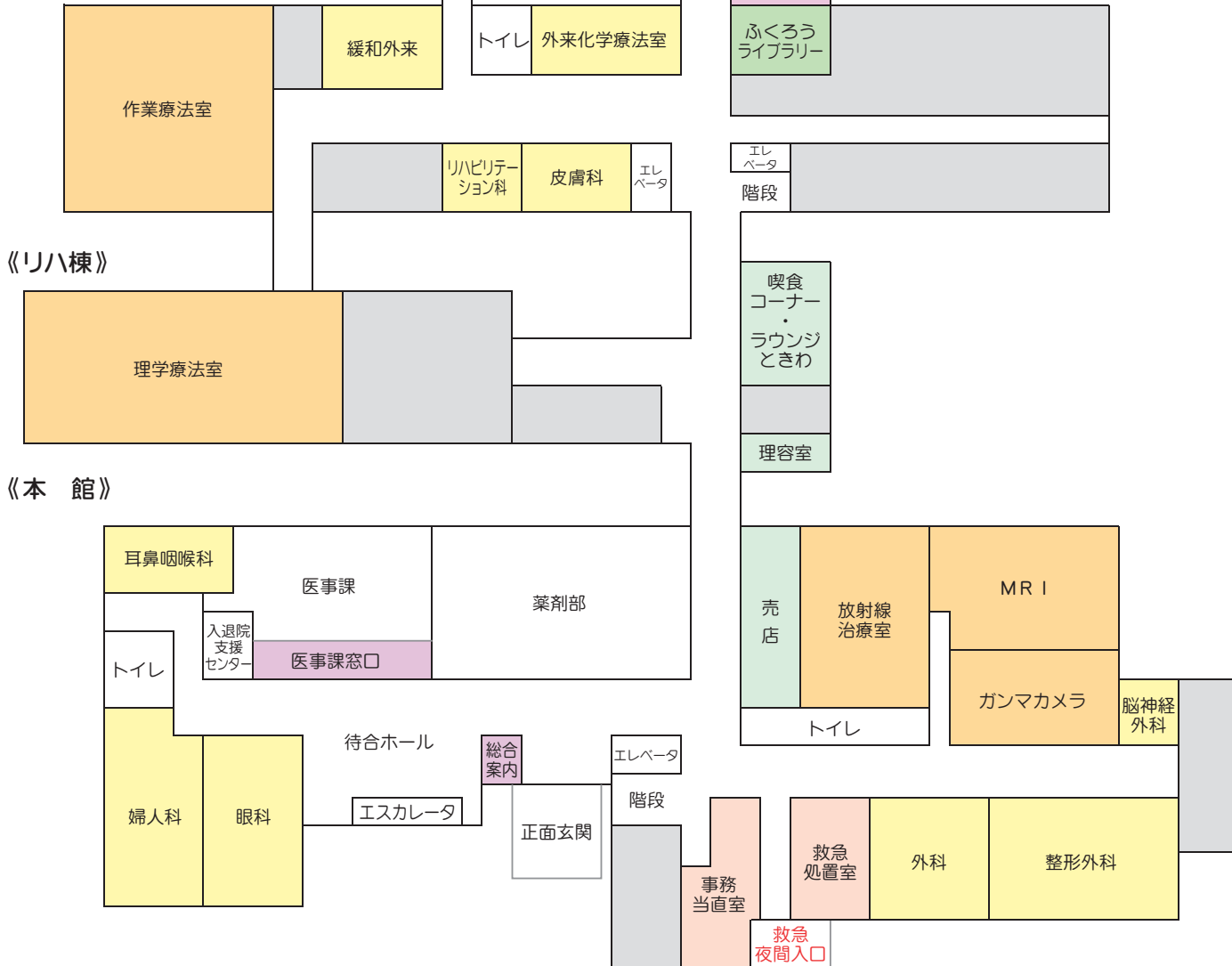
1階



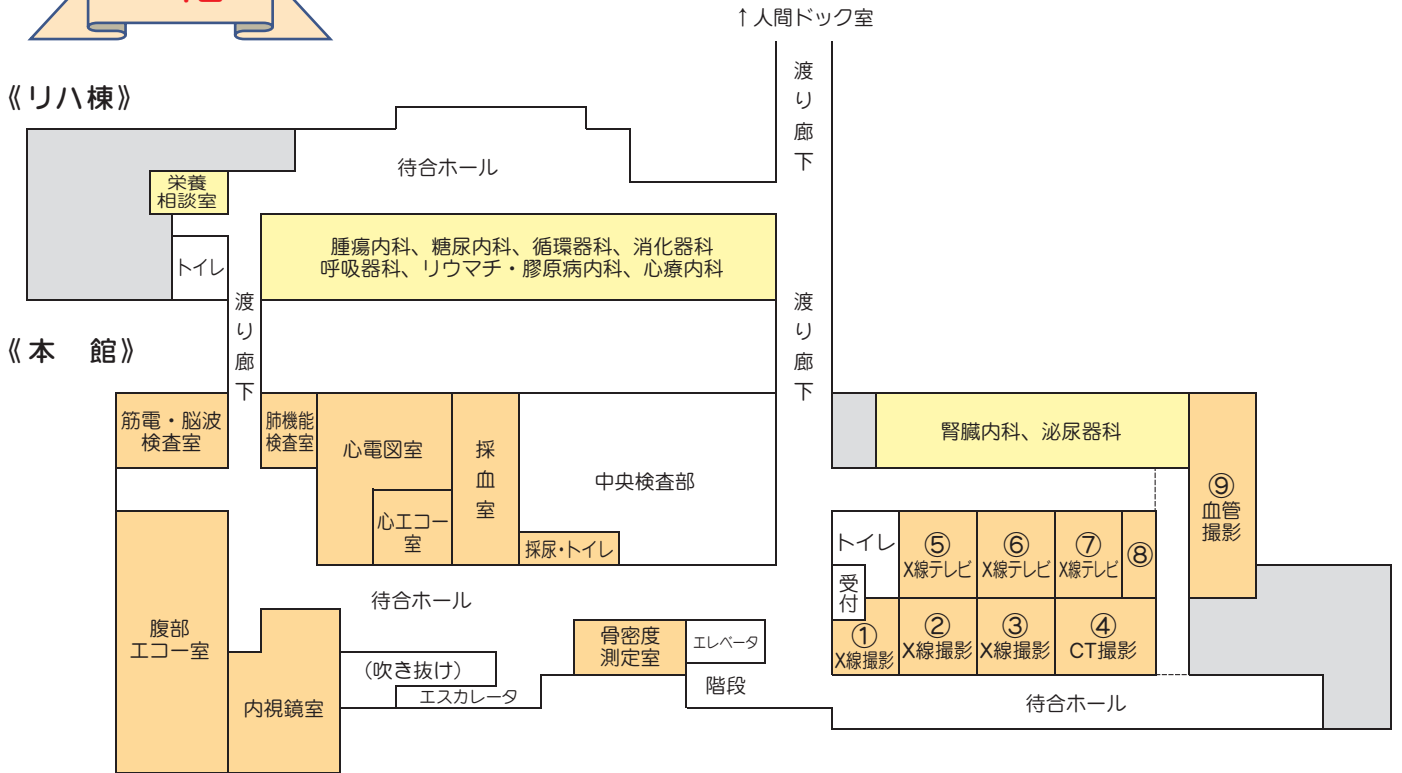
《管理棟》

北口玄関

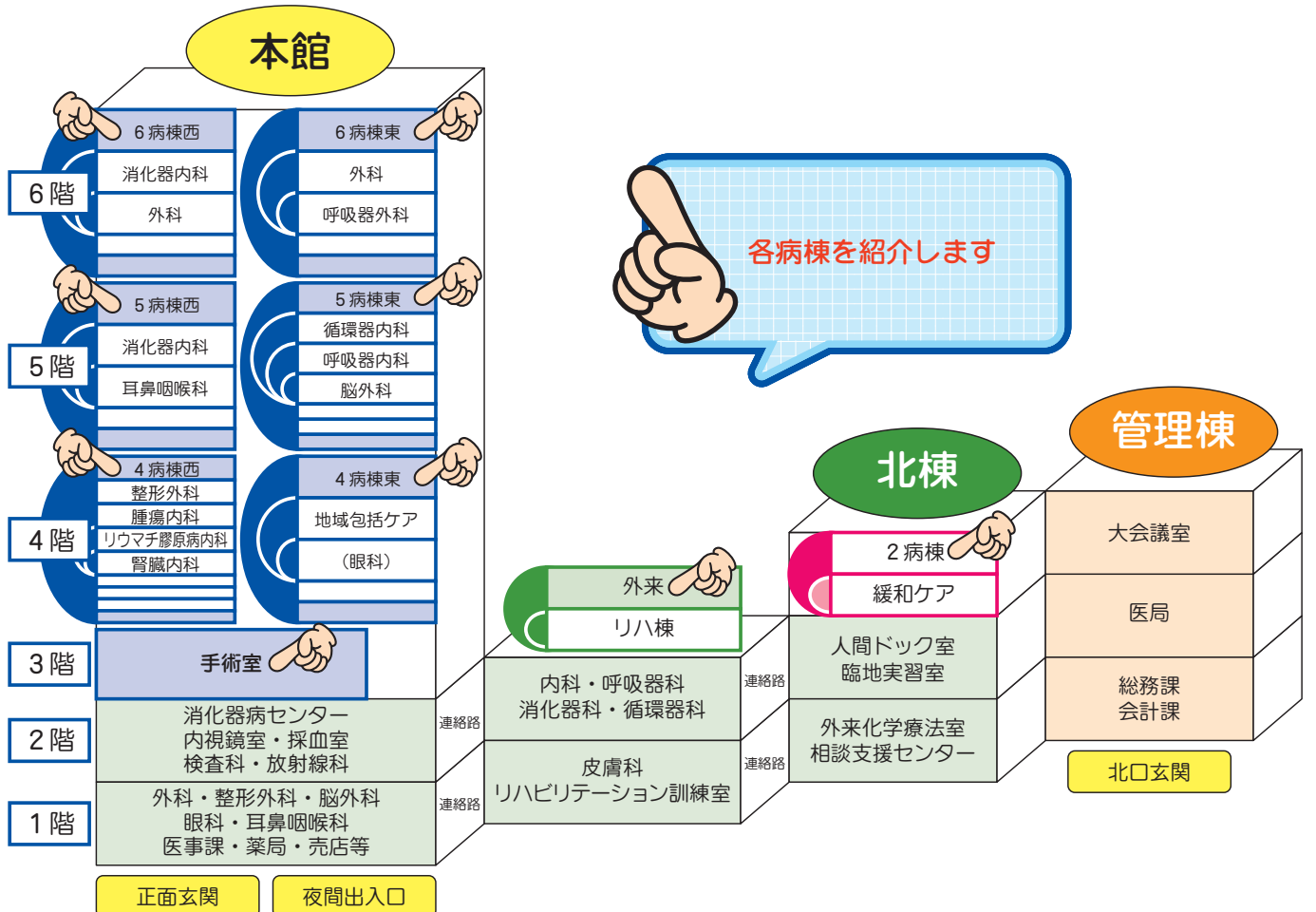
《北棟》



2階



病棟



電車・バスをご利用の場合

■JRいわき駅から

新常磐交通バス乗り場3番から乗車し、
「労災病院入口」下車

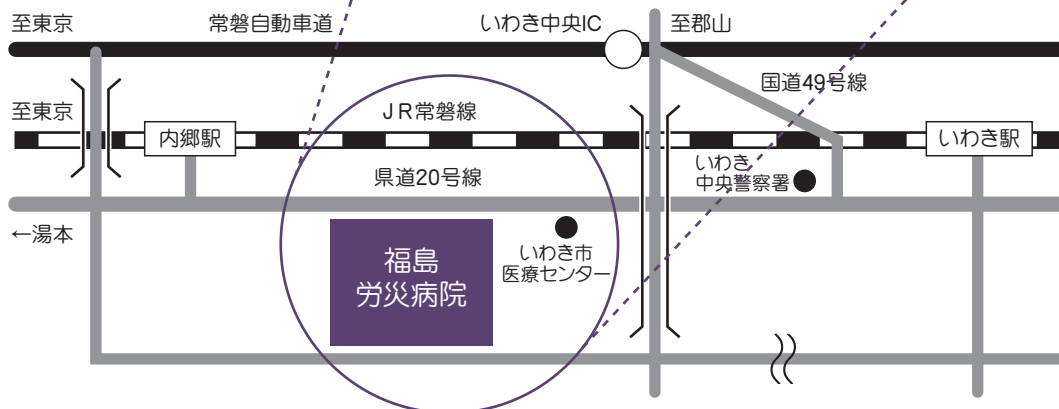
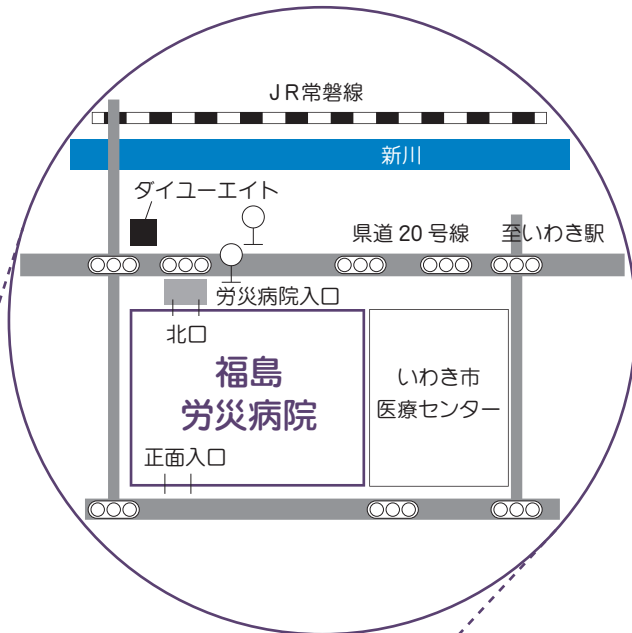
■JR内郷駅から

「内郷駅入口」バス停からいわき駅行きに
乗車し、「労災病院入口」下車

タクシーをご利用の場合

■JRいわき駅から約15分

■JR内郷駅から約5分



独立行政法人 労働者健康安全機構

福島労災病院